

マザアス広報

## ひだまり 96号



MOTHERTH

MOTHERTH NURSINGHOME FOR THE AGED

## 職員紹介 勤続28年、東久留米の誇りです！



掛川さん

梅谷さん

平成7年5月にマザアス東久留米が開設して以来、28年にわたり勤務されている掛川さんと梅谷さんを紹介します。

特別養護老人ホームでの介護職などを長年経験された後、在宅サービス部門にて活躍。

現在は居宅介護支援事業所のケアマネジャー（掛川さん）、ヘルパーステーションの常勤ヘルパー（梅谷さん）として、マザアスにとってなくてはならない存在です。

今回はご本人からのコメントと、一緒に働いている同僚からのコメントを掲載させていただきます。

「マザアスに奉職し28年が経ちました。介護について、知識も経験もありませんでしたが、いろいろな方のご指導やアドバイスで成長させていただきました。あらためて心より感謝いたします。28年の間、多くの方々との涙と笑いと感動がありました。

報恩の思いで、これからも微力ながら誠実にたゆまず役割を果たしていきたいと思ひます」

（掛川）

「市報に施設開設予定につき職員募集が載り、面接を受けたところから今に至ること28年。特別養護老人ホームやヘルパーステーションの現場で失敗は数知れず。その中で体得した貴重な介護技術と、激動の時代を過ごしてきたご利用者の方々の『百年人生』の歩みは宝です。本当の豊かさとは個々の経験の厚みでしょう。この先もうしばらくマザアスでお世話になります」 （梅谷）

## 同僚より

「私にとって掛川さんは特別養護老人ホームで勤めていた時の先輩であり、介護支援専門員としても大先輩です。掛川さんの尊敬する点としては特養時代からご利用者に対する言葉遣いや気遣いが丁寧なので、ご利用者からの信頼は厚くいつも素晴らしいと感じつつ勉強させてもらっています」 （横川）

「梅谷さんは、とても温かな方ご利用者にさせていただくサービスだけでなく『その方が何を求めているか』、『自立するために必要なことは何であるか』を常に考えながら介護という世界に向きあっています。『介護とはどうあるべきなのか？』その答えの一つを持ち実践されているマザアスの大ベテランです。（中山）

# TOPICS1 認知症デイ 学習療法の取組み

デイサービス湧泉の郷では、認知症の進行を緩やかにし、ご利用者の『生活の質』を向上させるために、公文の学習療法に取り組み始めました。

学習療法はご利用者に寄り添いながら学べる内容であり、認知症予防を支援する公文の理念に共感できたことが導入を決めた理由です。

脳の活性化を促進し学習への意欲を高める学習療法に取り組むことで、それまで無表情だった方に笑顔が見られるようになるなど、手応えを感じています。

この取り組みは、ご利用者やご家族からも好評であり、同時に地域のケアマネからの期待も高まってきたと実感しています。今後も、ご利用者の『生活の質』向上のため、“私たちに何ができるか”を考え続けていきます。



## 【学習療法の定義】

学習療法とは、音読と計算を中心とする教材を用いた学習を学習者と支援者がコミュニケーションをとりながら行うことにより学習者の認知機能やコミュニケーション機能、身辺自立機能等の前頭前野機能の維持・改善を図るもの  
(公文 HP より抜粋)



## 経営推進部より



表彰式の後、古谷先生を囲むマザアス東久留米の看護師・生活相談員

古谷健二氏（元マザアス東久留米嘱託医）が東京都功労者表彰を受賞しました。

古谷先生は19年間にわたり、嘱託医として私たちを支えてくださいました。急変の際には、休日でも深夜であっても駆けつけてくださった先生。

『医者なんだからそんなの当たり前だ、すぐにかけてなくてどうする』との言葉に、私たちはいつも励まされていました。今まで、マザアス東久留米に関わっていただいたことに心から感謝いたします。

(特養：生活相談員)



← ← 社会福祉法人マザアスのホームページのQRコードです